

家庭医療後期研修プログラム

名称	
登米全員参加型家庭医育成プログラム「やまとプロジェクト」	

プログラム責任者	
氏名	星野智祥
所属・役職	やまと在宅診療所登米
所在地・連絡先	住所 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼下田中 25 電話 0220-23-9832 FAX 0220-23-9840 E-mail info@tomeyamato-clinic.org
連絡担当者氏名	佐藤聖一

専攻医定員
1年あたり3名 (×研修期間年数=総定員9名)

プログラムの期間
3年間

概要
<p>A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長</p> <p>宮城県登米市は宮城県北部に位置し、東京 23 区とほぼ同じ面積がある。登米医療圏全体を見ると、宮城県内の 2 次医療圏の中で最も医師不足が深刻な地域であり、医師数は人口 10 万人当たり全国平均の半分以下で、市内開業医の高齢化や後継者不足の状況等から地域医療を維持していくことが大きな課題となっている。さらに登米市の高齢化率は全国平均を上回り、登米市民の健康寿命は、男女とも県内 35 市町村中、下位に位置している。そんな医療環境の中、やまと在宅診療所登米は、慢性期から看取りまでを包括的に 24 時間対応する在宅診療所として平成 24 年に開院した。やまと在宅診療所登米は診療所の運営だけでなく、地域住民、行政を含めた地域内全員参加型の地域包括ケア体制を構築すべく、「オープン・メディカル・コミュニティ(OMC)」というコンセプトのもと、医療・介護・福祉の関連職種向けの勉強会開催(OMC 勉強会)、市民健康講座の開講、医療情報を提供する地元ラジオ番組への出演、地域住民が医療・介護について話し合える場としてのコミュニティカフェの運営、登米市の医療行政へのアドバイザーとして市全体の地域包括ケア推進の役割を担うなど情報発信型の幅広い活動を展開している。やまと在宅診療所登米は、こうした幅広い活動を通して「登米市の医療を良くする」ことに貢献していきたいと真剣に考えている。</p>
<p>B. プログラムの理念、全体的な研修目標</p> <p>「患者家族が安心して生活できる医療」「地域が安心できる医療」を目標に一人ひとりの患者さんが希望する環境で、希望する医療を受け毎日安心して過ごせるよう応援していく。そのためにも、患者さんとご家族にとって何でも話せる身近な存在として医療を展開していきたい。そのような理念のもと、このプログラムに参加する研修医が「その人らしい生き方とは何か、その人らしく自宅で生活するには何が必要なのか一緒に考え、行動できる医師」、「後期高齢者が急増する超高齢化社会に向けて、在宅医療で学んだ知識や技術を生かして、医療介護のあらゆる現場でリーダーシップを発揮できる医師」「地域全体の医療介護に関する課題に対して、ソーシャルデザインを用いて問題解決ができる医師」を目指せるように研修をサポートしていきたいと考えている。</p>

C. 各ローテーション先で学べる内容や特色

登米市には医学生に対する奨学金制度があり、学生期間中に奨学金を貸与された医師は一定期間、登米市の公立病院、および診療所に勤務することが義務付けられている。このプログラムを通じて、登米市の医療に貢献したいと考えているそのような若手医師の教育やキャリア形成を支えたい。したがって、全員参加型というプログラムの趣旨からも、登米市の医療機関と連携しながらプログラムを運営していく。

総合診療研修Ⅰでは、登米市立米谷病院の協力を得て行う。米谷病院は登米市の北上川沿いに位置する49床の地元密着型の病院である。東日本大震災後は地元住民の他、隣接する南三陸町からの患者も数多く受け入れており、総合診療的な役割を担う内科外来や訪問診療を通して被災地の医療、高齢者医療について学ぶことが可能である。

やまと在宅診療所では、領域別研修として在宅医療集中研修を行う。この研修では、米谷病院の在宅医療で経験できない若年者の神経疾患、がんの終末期なども含めた幅広い患者さんの在宅管理を経験する。患者背景や疾患が多様なため、在宅医療に必要なあらゆる知識や技術を駆使して患者さんの生活を支えるためのノウハウを学ぶ。また、在宅医療集中研修では下記Eに記したように、医療・介護・福祉の関連職種向けの勉強会への参加、市民健康講座やラジオの健康番組へ講師として出演、コミュニティカフェでの医療相談や地域包括ケア会議への参加、行政との話し合いなどにも積極的に参加し、「地域全体を診る」という広い視点に立ち、家庭医としての自覚を深めていきたい。

小児科の外来研修では、米谷病院の小児科外来、もしくは、やまと在宅診療所と隣接する登米市民病院小児科外来の協力を得て小児診察の技術を学ぶ。また、家庭医の専門研修という観点から、小児科の外来研修では予防接種や健診業務にも積極的に参加したい。

総合診療研修Ⅱ、救急科研修、小児科研修の研修施設である石巻赤十字病院は宮城県東北部の沿岸に位置する石巻医療圏の中核病院として、東日本大震災において災害医療と救護活動の中心的役割を担った。石巻医療圏唯一の救命救急センター、様々な診療科を有する総合病院として、軽症から重症、内科疾患から外傷まであらゆる患者を受け入れ、救急搬送数は県内随一を誇っており、医師としてスペシャリストのみならず、全人的な対応が要求されるジェネラリストとしての能力を発展・発揮できる環境にある。また、病院の特性から災害訓練や講習会などを通して災害医療の基礎を学ぶことができる。

内科研修と選択研修の研修施設である登米市民病院は登米医療圏における基幹病院、および災害拠点病院としての役割を果たしている。日本内科学会認定医制度教育関連病院にも指定されており、内科研修では、呼吸器専門医、消化器病専門医、肝臓専門医の指導を受ける。また、登米市民病院には、外科専門医、整形外科専門医、放射線科専門医、皮膚科専門医が在籍しており、このうち選択研修では外科、整形外科から選択する。

D. 指導体制に関する特長

総合診療研修Ⅰでの協力施設である登米市立米谷病院は、日頃から患者のやり取りで連携しており、また、やまと在宅診療所登米とは地理的に近隣に位置し、診療圏も重複しており密接な情報交換が可能な環境にある。

総合診療研修Ⅱ、救急科研修、小児科研修の研修協力施設である石巻赤十字病院は、「総合診療医重点育成後期研修プログラム」として独自に家庭医後期研修プログラムを持ち、同プログラムの指導医と協力しながら指導体制を充実させていきたい。また、プログラム責任者は、勤務調整を行って、毎週、研修医が外部研修中であっても直接指導できる機会を確保し、また、facebook や電子メールなどを利用して、研修医と情報を共有し間接的にも指導できるような指導体制を構築したい。

内科研修、選択研修、小児科の外来研修の協力施設である登米市民病院は、やまと在宅診療所登米と同じ敷地の中にあり、日頃から患者さんの紹介や情報交換、各種勉強会を通じて信頼関係を築いている。したがって、研修医が登米市民病院内で研修している間は、登米市民病院の指導医と密に連携しながら指導することが可能な環境にある。

E. 医療関係職種、保健・福祉関係職種、地域の住民、医療機関の利用者などの協力を得る方法

先に記載した通り、やまと在宅診療所登米では、「顔の見える関係」を大切にしており、OMC 勉強会と称して登米市の医療・介護・福祉の関連職種向けの勉強会を定期的で開催し、毎回数多くの参加を頂いている。また、一般住民向けには市民健康講座やラジオの健康番組での情報発信、コミュニティカフェでの医療相談などを行っている。研修医がこのような地域活動にも参加し「顔の見える関係」を作りながら、関連職種や地域住民には研修の意義を深く理解してもらえる環境を作っていきたい。地域の協力を得ながら地域一体となって家庭医療専門医を育てていきたいと考えている。

F. その他

やまと在宅診療所登米は、関連企業とパートナーシップを結び、クラウド型の電子カルテと情報連携システムを有しており、地域包括ケアにとって最も重要な医療情報の共有に適した最先端のIT環境について学ぶことができる。また、先の情報発信型の様々な活動に積極的に参加することで、地域内全員参加型の地域包括ケアの意義について学ぶことができる。さらに、当院には同じグループ内の診療所として、東京にやまと在宅診療所高島平を有しており、活発な人材交流を通して都市と地方の医療や環境についても学ぶことができる。この研修を通して上記のように①臨床（都市と地方での地域医療、総合診療について）②研究（地域での公衆衛生、コホート）③行政との関わり（行政アドバイザーとして）④プロジェクト運営（問題解決モデル、マネージメント）を総合的に学ぶことができるよう指導していきたいと考えている。

G. モデルとなるローテーション例

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総診 I						内科					
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科			救急科			在宅医療集中研修			その他（選択研修）		
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総診 II						総診 I					

H. プログラムの全体構成（月単位の換算による）

総合診療 専門研修	総合診療専門研修 I 12 カ月				総合診療専門研修 II 6 カ月				
領域別 研修	在宅医療 集中研修 3 カ月		内科 6 カ月		小児科 3 カ月		救急科 3 か月		選択研修 3 カ月

総合診療専門研修 I

研修施設名	登米市立米谷病院	診療科名	内科
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院	施設が病院のとき → 病院病床数 49 床	
総合診療専門研修 I における研修期間	12 か月		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり		研修 1 年目と 3 年目にそれぞれ 6 が月ずつ分割し、3 年目に成長を感じられるような研修体制としたい。
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし		
指導医氏名 1	遠藤敏		
要件			
ケアの内容			
■外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど			
■訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事			
■地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
週当たり研修日数：5 日／週			

総合診療専門研修 II

研修施設名	石巻赤十字病院	診療科名	内科
施設情報	病院病床数 452 床	診療科病床数 90 床	
総合診療専門研修 II における研修期間	6 カ月		
研修期間の分割	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり		
指導医氏名 1	長澤将		
指導医氏名 2	矢満田慎介		
要件			
ケアの内容			
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題（心理・社会・倫理的問題を含む）を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。			
■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する。			
週当たり研修日数：5 日／週			

領域別研修：内科			
研修施設名	登米市民病院	病院病床数 258 床	診療科名 内科
領域別研修（内科）における研修期間		6 カ月	
指導医氏名	石井宗彦		
要件			
ケアの内容			
■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。			
週当たり研修日数：5 日／週			

領域別研修：小児科			
研修施設名	石巻赤十字病院	病院病床数 452 床	診療科名 小児科
領域別研修（小児科）における研修期間		3 カ月	
指導医氏名	伊藤健		
要件			
ケアの内容			
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する。			
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1 次救急を中心に経験する。			
■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ。			
週当たり研修日数：5 日／週			

領域別研修：救急科			
研修施設名	石巻赤十字病院	病院病床数 452 床	年間救急搬送件数 6244 件
指導医氏名	小林道生		
ブロック研修			
■ブロック研修 →領域別研修（救急科）における研修期間 3 カ月			
要件			
ケアの内容			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
週当たり研修日数：5 日／週			

領域別研修は以下の通り、一般外科（選択）、整形外科（選択）、在宅医療集中研修（必須）の 3 領域ですが、今後、他の施設と協力し、さらに幅広い領域から選択研修できるように改定していく予定です。

領域別研修：その他						
研修領域	必修・選択別	ブロック・兼任の別	研修日数/週 (兼任の場合)	研修期間	研修施設名と 診療科名	指導医氏名
一般外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	■ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	3 カ月	登米市民病院	松本宏
整形外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	■ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	3 カ月	登米市民病院	大井英毅
精神科／ 心療内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
産科婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> ブロック	() 日/週	() カ月		

	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 兼任				
眼科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾞｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	()日/週	()カ月		
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾞｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	()日/週	()カ月		
放射線科 (診断・撮影)	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾞｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	()日/週	()カ月		
臨床検査・ 生理検査	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾞｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	()日/週	()カ月		
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾞｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	()日/週	()カ月		
その他 在宅医療集中研修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾞｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	()日/週	3 カ月	やまと在宅診療所登米	星野智祥
その他 ()	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾞｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	()日/週	()カ月		